

彩りの秋

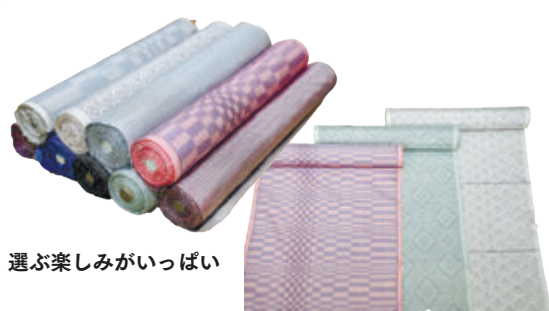
あなたのそばに大島紬

黒もいいけどカラフルも

大島紬は、色調が落ち着いた伝統的な「泥大島」から、明るくモダンな「色大島」や「白大島」まで、色彩豊かです。最近では色合いだけでなく、柄や風合いなどのバリエーションも広がり、おしゃれ着としても気軽に着られるようになりました。



▲おしゃれ着として街歩きにもぴったり



選ぶ楽しみがいっぱい

泥染めなどの暗い色のイメージがありましたが、明るい色もたくさんあります。若い人にも着てもらいたいです。

2020本場大島紬クイーン
前蘭 くるみ さん

軽くてとても着やすいので、普段のお出掛けにも着ています。皆さんにも気軽に楽しんでももらいたいです。

2020本場大島紬クイーン
榎谷 彩 さん

▲パリコレなどの作品も参考に、思い思いにデザインを工夫しました



▲大島紬の特徴を学んで製作しています

祖母の着物を使って洋服を製作中です。昔のものですが、柄も魅力的で、現代のファッションとしてかわいく着こなせます。

鹿児島純心女子短期大学2年
竹内 晴香 さん

学生とのコラボが生み出す新しさ

鹿児島純心女子短期大学では、学生が自分でデザインした衣装を大島紬で製作し、自身がモデルとなったファッションショーに取り組んでいます。ショーでは、大島紬の新しい世界が広がります。

鹿児島を代表する伝統的工芸品である大島紬。高価で特別なイメージを持つ人が多いのでは。今回は、大島紬をもっと好きになる新しい魅力を紹介します。

【産業支援課 ☎ 216・1323 FAX 216・1303】

日常を彩るあれこれ

着物だけでなく、ネクタイやバッグ、腕時計、ストール、マスクなど、普段の生活で使えるものもたくさんあります。伝統の美を日常に取り入れ、暮らしに彩りを加えてみませんか。



「伝統を紡いでいく」というチャレンジ
大島紬技術養成所で、職工訓練生として学んでいる竹川さんにインタビューしました。



竹川 り子 さん



▲毎日、8時30分～17時まで機に向かいます

大島紬が生活の中に溶け込んでいる。奄美大島で生まれ育ちました。子育ても一段落し、昔から習っていたかった機織りにチャレンジしようと思いい、入校しました。

大島紬はとても繊細で織るのが難しいですが、先生から丁寧に教えてもらえますし、分からないときは他のメンバーと教え合いながら、楽しく学んでいます。

大島紬を織っていることを友人に話すと、興味を持ってもらえるのがとてもうれしいです。もっと技術を磨いて、より複雑なすり模様の大島紬を織れるように頑張ります。

大島紬に関することは
本場大島紬織物協同組合
☎204-7550 FAX204-7551へ